

いじめ実態調査の概要

標茶町教育委員会

標茶町の各学校では、いじめ根絶に向けて「児童生徒によるいじめ根絶に向けた1学校1運動」や、「標茶町いじめ根絶子ども会議」での取組の交流等により、確実にその成果をあげているところです。また、町内すべての学校においては「学校いじめ防止基本方針」が策定され、それに基づいた組織的ないじめ防止の取組がなされています。「いじめは、どの学校においても起こりうるものである」という考えで、常に未然防止・早期発見・早期対応を心がけることが重要です。町教委では平成19年12月からいじめ実態調査を実施し、その結果の概要についてお知らせしているところです。学校と家庭、そして児童生徒がいじめの問題を考えるための参考にしていただければと思います。なお、本町では教育委員会指導室（015-485-2111内線284）がいじめ等の相談窓口となっております。

調査の目的

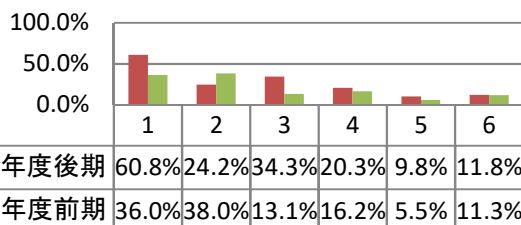
いじめの実態等を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見、早期対応等の指導に役立てるとともに、これまでの取組の検証と改善に生かすことを目的として実施しました。

調査対象者と実施方法

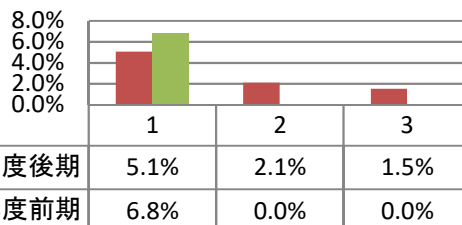
- 調査対象 町内小中学校のすべての児童生徒
- 調査期間 令和2年4月～令和2年7月の状況
- 調査方法 調査用紙により実施
- 回収率 小学校98.9%(364名)

調査項目1「今年の4月から今日(調査時点7月)までに、嫌な思いをしたことがありますか」

嫌な思いをした(小学生)

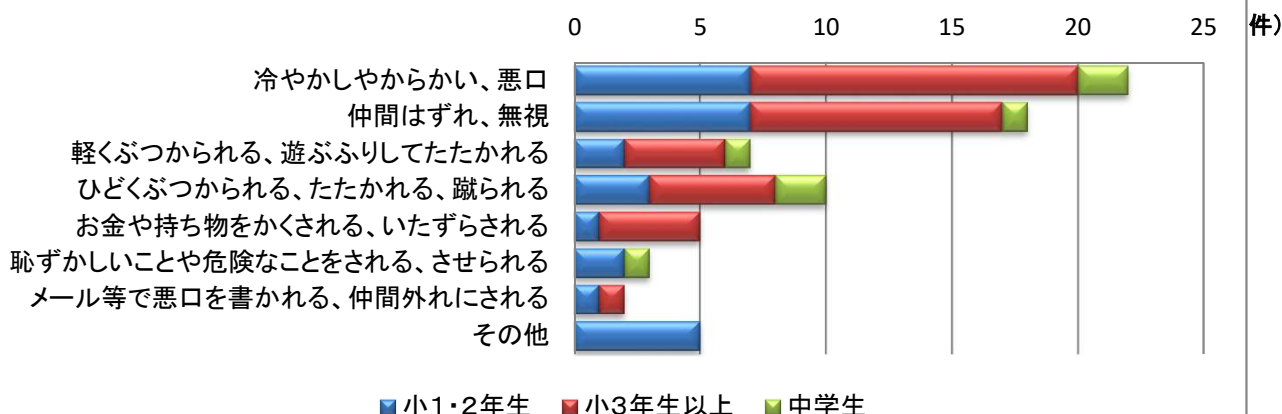


嫌な思いをした(中学生)



◆グラフの特徴としては、小学生、中学生ともに全体的に前回調査と比較して数値が減少しています。これは、4月からの累積の数値であるため割合は必然的に低くなることに加え、今年度は「新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業」があったため、学校で生活した期間が短かったことが要因だと考えられます。各学校においては、いじめの芽となる小さなことも見逃さないという姿勢できめ細かく児童生徒に目を配っています。今回の調査で「嫌な思いをしたことがある」と回答した児童生徒には状況を聞き取り、いじめへの発展を防いだり、重大ないじめを防ぐために組織的に対応しています。いじめを防ぐためには、家庭や地域の協力なしでは効果的な取り組みにつなげることはできません。これからも学校と家庭・地域のスムーズな連携にご協力いただきますようお願いいたします。

調査項目2「どんなことをされましたか」(嫌な思いをしたこと)



◆「冷やかしかからかい、悪口」が最も多い回答で「仲間外れ、無視」が続きます。「嫌な思いをしたことがある」と回答した子どもたちから話を聞くと、相手は何気ない気持ちで「冷やかしか」たりした行為でも、相手は傷つき嫌な思いをしていることが多いことがわかります。「相手は嫌な思いをしていないか」を考えた行動ができる子どもたちに育つよう、意図的で継続的な指導が必要です。また「メールや無料アプリ等での悪口や仲間外れ」にあっていないかどうか、十分目配りする必要があります。現在はインターネットを通して誰とでもつながることができる時代です。SNS等を介して小中学生が巻き込まれるトラブルや事件も全国的に報道されています。インターネットに関連したいじめにつながらないよう家庭でも十分に注意を払っていただくようお願いいたします。

調査項目3 「嫌な思いをした時、だれに相談しますか」

小学校

※上段令和元年度後期 下段令和2年度前期

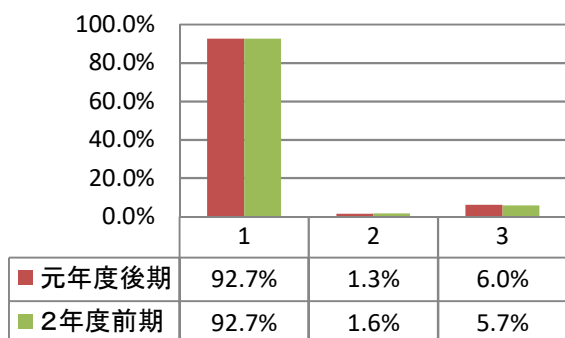
中学校

選択肢	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均	選択肢	1年	2年	3年	平均
学校の先生	32.4%	35.7%	27.3%	27.8%	18.5%	26.5%	27.9%	学校の先生	21.7%	23.7%	19.0%	21.3%
#DIV/0!	28.6%	33.1%	25.0%	27.8%	17.3%	26.2%		#DIV/0!	22.0%	20.1%	24.1%	21.7%
スクールカウンセラー	1.0%	1.4%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	スクールカウンセラー	1.1%	4.3%	0.0%	1.5%
#DIV/0!	0.0%	0.7%	2.0%	0.0%	1.3%	0.8%		#DIV/0!	0.8%	2.9%	2.8%	2.2%
友人	12.4%	15.0%	18.2%	23.3%	28.9%	25.9%	21.1%	友人	26.7%	26.9%	32.2%	28.4%
#DIV/0!	16.0%	13.8%	19.1%	24.1%	30.7%	21.0%		#DIV/0!	26.8%	30.5%	29.6%	29.1%
父や母	35.2%	32.9%	39.2%	32.8%	33.3%	34.7%	34.6%	父や母	28.3%	28.0%	30.6%	28.9%
#DIV/0!	34.5%	30.3%	34.2%	33.5%	32.0%	32.9%		#DIV/0!	34.1%	29.3%	25.9%	29.9%
兄弟姉妹	10.5%	11.4%	10.5%	13.3%	11.9%	9.5%	11.3%	兄弟姉妹	12.8%	9.7%	9.9%	11.2%
#DIV/0!	13.4%	16.6%	14.5%	11.4%	13.3%	13.8%		#DIV/0!	8.1%	10.3%	12.0%	10.1%
電話相談	2.9%	1.4%	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	電話相談	2.8%	1.1%	0.8%	1.8%
#DIV/0!	3.4%	2.1%	0.7%	1.3%	0.7%	1.5%		#DIV/0!	0.8%	1.1%	0.0%	0.7%
メールやSNSの相談窓口	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.5%	0.0%	0.4%	メールやSNSの相談窓口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
#DIV/0!	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%		#DIV/0!	0.0%	0.6%	0.0%	0.2%
だれにも相談しない	4.8%	1.4%	1.4%	0.6%	3.0%	2.7%	2.1%	だれにも相談しない	6.1%	6.5%	7.4%	6.6%
#DIV/0!	2.5%	1.4%	1.3%	1.9%	1.3%	1.7%		#DIV/0!	6.5%	4.0%	5.6%	5.2%
その他	1.0%	0.7%	1.4%	0.0%	2.2%	0.0%	0.8%	その他	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%
#DIV/0!	0.8%	2.1%	3.3%	0.0%	3.3%	1.9%		#DIV/0!	0.8%	1.1%	0.0%	0.7%

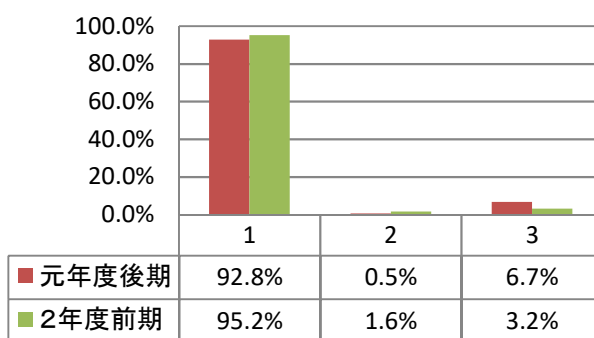
◆この調査項目は、昨年度後期調査より選択肢が増えており、「スクールカウンセラー」と「メールやSNSの相談窓口」が追加されました。子どもたちにとって、相談窓口が多様にあるということは、自分が相談しやすいところに相談できることを示しています。スクールカウンセラーは本町にも2名配置されていて、子どもの心に寄り添った対応ができます。メールやSNSの相談窓口については、道教委の相談窓口があります。その他にも民間でおこなっている窓口もあり、相談体制も多様化しております。しかしながら、子どもたちにとって「父や母」「友人」「学校の先生」が子どもの相談相手として上位に位置付けられていることは、標茶町の子どもたちは「身近な存在の人」を信頼して頼り相談しようとする姿勢があるということです。これからも、子どもたちの小さな変化を見逃さず親身に寄り添っていききたいものです。（※小学校1年生は、今回の調査項目に含まれません）

調査項目4 「あなたは、いじめは どんなことがあっても 許されないことだと思いますか」

いじめはいかなる理由があっても許されない(小学校)



いじめはいかなる理由があっても許されない(中学校)



【選択肢の回答内容】 1 そう思う 2 そう思わない 3 わからない

◆「そう思う」と答えた児童生徒の割合が小学校では変化ありませんが「中学校」で増加しています。標茶町ではこの数値を「100%」にすることを目指しています。しかしながら、「そう思わない」「わからない」と回答した児童生徒が30名程度にのぼります。このことは大きな課題だととらえています。「北海道いじめの防止等に関する条例」では「児童生徒は、いかなる理由があってもいじめを行ってはけません」と定められています。「そう思わない」「わからない」と答えた児童生徒が「いじめ問題」についての認識を正くもつことができるよう、学校でも粘り強く指導を重ねていきたいと思います。各家庭でもいじめについて正しい認識を子どもたちに伝えていただくようお願いいたします。

「いじめ問題等」電話相談窓口 ※いつでも相談できます

・子ども相談支援センター TEL 0120-3882-56 (無料 24時間)

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

・24時間子供SOSダイヤル TEL 0120-0-78310 (無料 24時間)

・釧路教育局教育相談電話 TEL 0154-43-1475 (月～金 8:45～17:30)